



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月12日

上場会社名 テイカ株式会社

上場取引所 東

コード番号 4027 URL <http://www.tayca.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 名木田 正男

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役 専務執行役員 (氏名) 山崎 博史

TEL 06-6208-6404

定時株主総会開催予定日 2020年6月25日

配当支払開始予定日 2020年6月8日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	45,435	4.1	5,808	0.1	5,798	3.9	3,830	4.4
2019年3月期	47,385	11.4	5,803	4.0	6,033	1.2	4,007	10.6

(注) 包括利益 2020年3月期 3,056百万円 (0.9%) 2019年3月期 3,029百万円 (31.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	163.70		8.4	9.1	12.8
2019年3月期	170.47		9.1	9.8	12.2

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	63,554	46,940	73.3	2,010.70
2019年3月期	63,916	45,356	70.5	1,916.26

(参考) 自己資本 2020年3月期 46,600百万円 2019年3月期 45,050百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	5,165	5,498	2,346	10,713
2019年3月期	4,830	3,787	1,270	13,388

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		16.00		16.00	32.00	752	18.8	1.7
2020年3月期		18.00		22.00	40.00	933	24.4	2.0
2021年3月期(予想)								

(注) 2020年3月期期末配当金の内訳 記念配当 4円00銭

(注) 2021年3月期の配当予想は未定とさせていただきます。業績予想の算定が可能となり次第、あわせて開示いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現段階で合理的な業績予想の算定が困難であることから、公表しておりません。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	25,714,414 株	2019年3月期	25,714,414 株
期末自己株式数	2020年3月期	2,538,313 株	2019年3月期	2,205,090 株
期中平均株式数	2020年3月期	23,398,215 株	2019年3月期	23,509,645 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	35,172	1.3	5,221	1.4	5,583	3.7	3,821	4.6
2019年3月期	35,634	6.0	5,293	9.0	5,797	5.3	4,006	19.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	163.34	
2019年3月期	170.43	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	58,556		44,547		76.1		1,922.13	
2019年3月期	58,814		43,164		73.4		1,836.06	

(参考) 自己資本 2020年3月期 44,547百万円 2019年3月期 43,164百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による業績への影響を見通すことが困難であるため、未定としております。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	2
(3) 次期の見通し	4
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 経営方針	4
(1) 会社の経営の基本方針	4
(2) 中長期的な会社の経営戦略と会社の対処すべき課題	4
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
4. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
5. その他	14
(1) 役員の変動	14

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

当連結会計年度におけるわが国の経済は、前半は緩やかな回復基調で推移しましたが、米中貿易摩擦や消費税増税の影響による輸出や生産等の落ち込みに加え、第4四半期に入ってから、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による経済への影響や社会不安が重なり、先行きはより一層不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループとしましては、成長事業への設備投資や研究開発等経営資源の重点投入、国内外での新規市場、顧客の開拓等積極的な営業活動を展開するとともに、製造原価の低減、業務効率の向上を図り、収益の確保に取り組んでまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績につきましては、化粧品向けの機能性微粒子製品やコンデンサ向けの導電性高分子薬剤の販売は好調でありましたが、汎用用途の酸化チタンや界面活性剤の国内外での販売が低調であったこと、機能性微粒子製品の製造設備増設に伴う償却費負担が増加したこと等により、売上高は454億3千5百万円（前期比4.1%減）、営業利益は58億8百万円（前期比0.1%増）、経常利益は57億9千8百万円（前期比3.9%減）となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券売却益を計上しましたが、ベトナムの連結子会社の減損処理等に伴い特別損失を計上したことにより、38億3千万円（前期比4.4%減）となりました。

当連結会計年度のセグメント別の概況は次のとおりであります。（添付資料の12ページ「セグメント情報」をご参照ください）

酸化チタン関連事業

汎用用途の酸化チタンは、国内外の塗料向けの販売が低迷し、販売数量・売上高ともに前期を下回りました。

機能性用途の微粒子酸化チタン、表面処理製品は、国内外の化粧品向けの需要が旺盛に推移、販売数量・売上高ともに前期を上回りました。

以上の結果、当事業の売上高は245億6千4百万円（前期比0.3%増）となりました。

その他事業

界面活性剤は洗剤向けの国内での販売が低調に推移、タイ、ベトナムの連結子会社の販売も低調に推移したことにより、販売数量・売上高ともに前期を下回りました。

コンデンサ向けの導電性高分子薬剤は、堅調に推移し、販売数量・売上高ともに前期を上回りました。

硫酸及び無公害防錆顔料は、需要低迷の影響を受け、販売数量・売上高ともに前期を下回りました。

倉庫業は保管量の増加により、売上高は前期を上回りました。

圧電材料は医療機器向け、洗浄機向け顧客の在庫調整等により、売上高は前期を下回りました。

以上の結果、当事業の売上高は208億7千万円（前期比8.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する分析

① 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の資産総額は、635億5千4百万円（前連結会計年度末比3億6千2百万円減少）となりました。これは主に、たな卸資産が26億8千5百万円、有形固定資産が23億6千8百万円、それぞれ増加し、現金及び預金が26億7千5百万円、受取手形及び売掛金が14億6千6百万円、投資有価証券が13億円、それぞれ減少したことによります。

負債合計は、166億1千3百万円（前連結会計年度末比19億4千6百万円減少）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が5億5千5百万円、設備関係未払金が5億6千3百万円、長期借入金が7億5千6百万円、それぞれ減少したことによります。

純資産合計は、469億4千万円（前連結会計年度末比15億8千4百万円増加）となりました。これは主に、利益剰余金が30億3千万円増加し、その他有価証券評価差額金が8億4千8百万円減少したことによります。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、107億1千3百万円（前連結会計年度末比26億7千5百万円減少）となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金は、51億6千5百万円の収入（前連結会計年度比3億3千4百万円収入額の増加）となりました。主な要因は、税金等調整前当期純利益57億8百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金は、54億9千8百万円の支出（前連結会計年度比17億1千万円支出額の増加）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出55億3千4百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金は、23億4千6百万円の支出（前連結会計年度比36億1千6百万円支出額の増加）となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出7億7千7百万円、自己株式の取得による支出6億6千7百万円、配当金の支払額7億9千8百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2017年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	70.9	72.3	72.7	70.5	73.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	51.8	66.0	112.5	93.8	52.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.4	0.2	0.5	0.8	0.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	121.4	217.8	119.3	113.3	112.7

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(3) 次期の見通し

今後の経済見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないなか、国内外経済の急激な悪化リスクが高まっており、経営環境は一層厳しさを増すものと予想されます。

当社グループを取りまく事業環境は次のとおりであります。

・酸化チタン関連事業

汎用用途の酸化チタンに関しましては、自動車用塗料向け等の需要が減少する見通しで、今後収益面で厳しい状況になると予想しております。

機能性用途の微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛及び表面処理製品に関しましては、主用途のUVカット剤需要への影響が懸念され、今後の状況を注視し販売維持・拡大に努めます。

・その他事業

界面活性剤に関しましては、洗剤等日用品向けの需要が増加する見通しで、販売は堅調に推移するものと予想しております。

コンデンサ向けの導電性高分子薬剤や医療機器向けの圧電材料に関しましては、需要は上向くものと予想しており、更なる拡販に努めます。

このような状況下、当社グループは激変する環境にスピードをもって的確かつ柔軟に対応するとともに、グループ一丸となって一層の企業価値向上に努めてまいり所存であります。

次期の連結業績の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う影響を見通せない現段階で、多岐にわたる不確定要素があり、適正かつ合理的に業績への影響を算出することが困難であると判断し、未定とさせていただきます。今後、業績予想の算出が可能と判断した段階で速やかに公表いたします。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は基本的に株主に対する安定した利益還元を重要事項と認識し、必要となる十分な株主資本の水準を保持するとともに、各期の業績等を総合的に判断して配当を実施することとしております。

当期末の配当金につきましては、本日開催の取締役会におきまして、2019年11月6日に公表しました「期末配当予想の修正（創立100周年記念配当）に関するお知らせ」のとおり、普通配当金を1株当たり18円とし、また株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表するため、記念配当金4円を加えた1株当たり22円とさせていただきます。なお、中間配当金は1株当たり18円を実施しており、年間配当金は前期に比べて8円増配の1株当たり40円となりました。

また、次期の配当金につきましては、現時点では未定とし、業績予想の算出が可能となった段階で、配当予想を速やかに公表いたします。

内部留保資金につきましては、高付加価値分野への研究開発・設備投資に充当し、高収益体質の強化を図ってまいります。

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループの経営理念及び経営の方針は創立100周年を機に見直しを行い、新しい経営の理念は「化学の力で感動の素を創り、世界に夢と笑顔を届けます」とし、経営の方針は「全員参加の経営、社会貢献と企業価値の増大、地球環境との調和、コンプライアンスの徹底、情報の開示」を骨子としております。

(2) 中長期的な会社の経営戦略と会社の対処すべき課題

2020年度から始まります当社グループの中期経営計画は、新型コロナウイルス感染症による当社グループの事業活動への影響額を合理的に算定することができ次第、次期の連結業績とともに速やかに公表させていただく予定であります。

また、当社グループは次の100年に向けた第一歩として、2029年度までの長期経営ビジョンを策定しております。長期経営ビジョンでは、既存製品での市場の更なる深耕と、お客様に感動をもたらす、地球環境に配慮した新しい価値を創造することで、持続可能な社会の実現と企業価値の増大を図ることとしております。なお、長期経営ビジョンの詳細につきましては、中期経営計画と合わせて公表させていただく予定であります。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,467	10,792
受取手形及び売掛金	14,768	13,302
商品及び製品	5,043	6,913
仕掛品	775	982
原材料及び貯蔵品	3,119	3,728
その他	438	546
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	37,609	36,261
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,447	5,151
機械装置及び運搬具（純額）	4,962	5,646
土地	1,291	1,699
建設仮勘定	2,362	2,959
その他（純額）	468	444
有形固定資産合計	13,532	15,901
無形固定資産		
のれん	2,117	1,858
その他	74	274
無形固定資産合計	2,191	2,133
投資その他の資産		
投資有価証券	9,736	8,435
長期前払費用	444	481
繰延税金資産	64	71
その他	361	292
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	10,583	9,258
固定資産合計	26,307	27,293
資産合計	63,916	63,554

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,343	4,787
短期借入金	630	605
1年内返済予定の長期借入金	777	754
未払法人税等	878	1,034
賞与引当金	384	405
その他	3,690	3,346
流動負債合計	11,704	10,934
固定負債		
長期借入金	2,408	1,652
リース債務	120	89
繰延税金負債	981	608
長期未払金	16	16
環境対策引当金	1	1
退職給付に係る負債	3,327	3,236
その他	—	75
固定負債合計	6,856	5,679
負債合計	18,560	16,613
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,855	9,855
資本剰余金	6,766	6,766
利益剰余金	25,520	28,551
自己株式	△1,791	△2,458
株主資本合計	40,351	42,714
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,856	4,008
繰延ヘッジ損益	33	△85
為替換算調整勘定	48	112
退職給付に係る調整累計額	△241	△151
その他の包括利益累計額合計	4,698	3,885
非支配株主持分	306	340
純資産合計	45,356	46,940
負債純資産合計	63,916	63,554

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	47,385	45,435
売上原価	35,290	33,072
売上総利益	12,095	12,362
販売費及び一般管理費	6,291	6,554
営業利益	5,803	5,808
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	221	225
為替差益	14	—
その他	63	68
営業外収益合計	302	296
営業外費用		
支払利息	42	45
たな卸資産廃棄損	9	81
為替差損	—	87
損害賠償金	9	36
その他	11	55
営業外費用合計	73	307
経常利益	6,033	5,798
特別利益		
投資有価証券売却益	—	425
特別利益合計	—	425
特別損失		
減損損失	—	309
固定資産除却損	173	162
出資金評価損	—	25
投資有価証券評価損	—	14
ゴルフ会員権売却損	—	4
特別損失合計	173	515
税金等調整前当期純利益	5,860	5,708
法人税、住民税及び事業税	1,795	1,864
法人税等調整額	11	△8
法人税等合計	1,806	1,855
当期純利益	4,053	3,852
非支配株主に帰属する当期純利益	45	22
親会社株主に帰属する当期純利益	4,007	3,830

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	4,053	3,852
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△859	△848
繰延ヘッジ損益	22	△118
為替換算調整勘定	△160	81
退職給付に係る調整額	△27	90
その他の包括利益合計	△1,024	△795
包括利益	3,029	3,056
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,987	3,017
非支配株主に係る包括利益	41	39

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,855	6,766	22,217	△1,788	37,052
当期変動額					
剰余金の配当			△705		△705
親会社株主に帰属する当期純利益			4,007		4,007
自己株式の取得				△2	△2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	3,302	△2	3,299
当期末残高	9,855	6,766	25,520	△1,791	40,351

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	5,716	11	205	△213	5,718	272	43,043
当期変動額							
剰余金の配当							△705
親会社株主に帰属する当期純利益							4,007
自己株式の取得							△2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△859	22	△156	△27	△1,020	33	△987
当期変動額合計	△859	22	△156	△27	△1,020	33	2,312
当期末残高	4,856	33	48	△241	4,698	306	45,356

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,855	6,766	25,520	△1,791	40,351
当期変動額					
剰余金の配当			△799		△799
親会社株主に帰属する当期純利益			3,830		3,830
自己株式の取得				△667	△667
自己株式の処分				0	0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	3,030	△667	2,363
当期末残高	9,855	6,766	28,551	△2,458	42,714

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	4,856	33	48	△241	4,698	306	45,356
当期変動額							
剰余金の配当							△799
親会社株主に帰属する当期純利益							3,830
自己株式の取得							△667
自己株式の処分							0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△848	△118	64	90	△812	34	△778
当期変動額合計	△848	△118	64	90	△812	34	1,584
当期末残高	4,008	△85	112	△151	3,885	340	46,940

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	5,860	5,708
減価償却費	2,054	2,590
のれん償却額	235	232
固定資産除却損	173	162
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	57	38
受取利息及び受取配当金	△224	△228
支払利息	42	45
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,421	1,577
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△318	△2,672
仕入債務の増減額 (△は減少)	148	△590
未払消費税等の増減額 (△は減少)	63	△168
その他	△24	△0
小計	6,645	6,693
利息及び配当金の受取額	224	228
利息の支払額	△42	△45
法人税等の支払額	△1,997	△1,711
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,830	5,165
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,458	△5,534
投資有価証券の取得による支出	△11	△11
投資有価証券の売却による収入	0	536
その他	△317	△489
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,787	△5,498
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△119	△66
長期借入れによる収入	3,177	—
長期借入金の返済による支出	△1,046	△777
自己株式の取得による支出	△2	△667
配当金の支払額	△701	△798
非支配株主への配当金の支払額	△8	△5
その他	△27	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,270	△2,346
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11	4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,301	△2,675
現金及び現金同等物の期首残高	11,086	13,388
現金及び現金同等物の期末残高	13,388	10,713

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、報告セグメントを主力事業である「酸化チタン関連事業」と「その他事業」としております。なお、「酸化チタン関連事業」は岡山地区の工場で酸化チタン関連製品等を製造する事業であり、「その他事業」は主として大阪工場でスルホン化技術を核とした製品等を製造する事業であります。

各報告セグメントに属する主な製品は次のとおりであります。

- (1) 酸化チタン関連事業……………酸化チタン、微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛、表面処理製品、光触媒用酸化チタン等
- (2) その他事業……………界面活性剤、硫酸、無公害防錆顔料、導電性高分子薬剤、圧電材料等

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	連結財務諸 表計上額
	酸化チタン 関連事業	その他 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,495	22,890	47,385	—	47,385
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	855	855	(855)	—
計	24,495	23,746	48,241	(855)	47,385
セグメント利益	3,584	2,254	5,839	(35)	5,803
その他の項目					
減価償却費	1,197	866	2,064	(9)	2,054

(注) セグメント利益の調整額△35百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注)	連結財務諸 表計上額
	酸化チタン 関連事業	その他 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,564	20,870	45,435	—	45,435
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	900	900	(900)	—
計	24,564	21,771	46,336	(900)	45,435
セグメント利益	3,331	2,500	5,831	(23)	5,808
その他の項目					
減価償却費	1,652	935	2,587	3	2,590

(注) セグメント利益の調整額△23百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,916.26円	2,010.70円
1株当たり当期純利益	170.47円	163.70円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。
2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	45,356	46,940
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	306	340
(うち非支配株主持分(百万円))	(306)	(340)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	45,050	46,600
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	23,509	23,176

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	4,007	3,830
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	4,007	3,830
期中平均株式数(千株)	23,509	23,398

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. その他

(1) 役員の変動

役員の変動につきましては、2020年4月22日公表の「代表取締役(社長交代)、取締役及び執行役員の変動並びに組織変更に関するお知らせ」をご参照ください。